

創立 135 周年をむかえて

学長 川合 貞子

2016 年渡辺学園は創立 135 周年をむかえました。1881 年（明治 14 年）校祖渡邊辰五郎先生によって、新しい時代をつくるには女性が独り立ちし社会に貢献できることが重要との考えに基づいて「女性の自主自律」を願い創立されました。その「自主自律」を建学の精神として、女性の生き方と一生を支える専門職業人を育成し社会に輩出し、また「愛情・勤勉・聡明」を生活信条として、明るく堅実な校風のもと学園を築いてまいりました。

本郷湯島に「和洋裁縫伝習所」を開設以後、1946 年板橋に移転し、1947 年に渡辺女子中学校（現東京家政大学附属女子中学校）、翌年に渡辺学園女子高等学校（同高等学校）、1949 年に東京家政大学、翌年東京家政大学短期大学部を設立し、1953 年に附属みどりヶ丘幼稚園、1967 年にナースリールーム、そして 1986 年に狭山校舎を開学、2014 年にかせい森のおうちを開設し、渡辺学園はこれまでの歴史と伝統の継承的発展をはかり今日をむかえました。

現代の激しい社会変革の中で、未来社会を創造する自立的人材の育成への要求と期待は大きく、そのような時代にこそ柔軟な思考力と豊かな感性を持ち、確実に社会を歩む人間性と人間力を培う本学の教育理念は信念を持って進められなければなりません。主体性を伸びやかに発揮できる教育環境を、中長期計画の中で進めるべく策定し実践し、伝統を礎として新しい時代を築く教育・研究・文化の活動拠点となるべく教職員協働で努力いたします。